

会 議 要 旨

| | |
|-----------|---|
| 会議名 | 令和8年度第1回館山市行財政改革委員会 |
| 開催日 | 令和8年5月26日(火)15:00~16:30 |
| 開催場所 | 館山市役所 本館2階会議室 |
| 出席者 | 館山市行財政改革委員会委員 6名(うち1名がオンライン参加) 副市長、総務企画部長、行革財政課(課長以下3名) |
| 公開・非公開の別 | 公開 |
| 非公開の場合の理由 | |
| 傍聴者 | 0名 |
| 会議概要・結果等 | <p>1 開会</p> <p>2 副市長挨拶</p> <p>3 情報提供 (1) 令和6年度~令和8年度 行革財政課の体制について 事務局より、資料をもとに説明を実施。</p> <p>4 議事 (1) 館山市役所の組織体制について (2) 館山市役所 組織改革の実行(令和7年度 取組成果) 事務局より、資料をもとに説明を実施。 【議事(1)(2)に対する主な委員意見等】 (:委員意見等 :市回答) 市役所は地域最大の組織であり、市役所の経営改革は「地域経営」そのものである。職員が元気で活躍することが地域の活力に直結するという視点を持ちつつ進めてほしい。 大胆な改革の裏で職員が萎縮していないか。削減だけでなく、新しい挑戦ができる環境づくりが必要。 対話を通じた意識改革を今年度実施する予定である。 今の社会情勢では、離職を止める施策は難しい。ITやAIへの投資による業務効率化をさらに進めるべき。 小規模自治体ほどDXなどの初動が遅れがちだが、館山市が組織改革に併せて、DX推進を掲げたことは素晴らしい。次は「攻めのDX」により生産性を高め、職員の待遇や働きがいに還元していくことが期待される。</p> <p>(3) 館山市役所 組織改革の実行(令和8年度 取組方針) (4) 財政運営の現状について 事務局より、資料をもとに説明を実施。 【議事(3)(4)に対する主な委員意見等】 以前の委員会では「令和9年度に財政調整基金が底を突く」という厳</p> |

しい予測があったが、この2年間の取り組みで収支の改善はどのように進んだのか。

行財政運営に少し改善の光が見えてきたのは、単年度（令和7年度）の努力だけではない。これまでやってきた「事業仕分け」による事業の見直しや、学校施設などの公共施設の再編などの取り組みが、少しずつ成果として現れてきたものである。

これまでの厳しい市役所の運営を「しのいできた」職員の努力を評価したい。このような内情をもっと市民に知ってもらうべき。市役所内だけの組織・財政改革に留めず、市民も「自分たちの町のことは自分たちでやる」という意識を共有する「地域経営」の視点が不可欠である。

昨年度に町内会や経済界との意見交換会を実施しており、現状を包み隠さず伝えることで理解を求める活動を始めている。

「うまくいかなかった事例を庁内で共有することで改善へのヒントを探る」という取組を評価したい。失敗を話せる環境（心理的安全性の確保）は、現在の組織改革が正しいプロセスで進んでいる証拠であり、ぜひ継続してほしい。

5 その他

（1）次期 行財政改革委員会の委員委嘱について

- ・現委員の任期が令和8年7月27日をもって満了となることに伴い、次期（令和8年7月28日～）の委員委嘱についての意向確認を実施。昨年度は組織改革の影響で本委員会を開催できなかった背景があるため、専門的な知見を持つ現委員に引き続き委嘱したい。次期委員の委嘱（継続）について、6月10日までに回答を求める旨連絡。
- ・館山市では、施設の長寿命化や統廃合を計画的に進めるため「公共施設等総合管理計画」を策定している。近年、国の補助金申請に際して、本計画内への特定の記載を迅速に求められるケースが増加している。事務の迅速化・効率化を図るため、計画の根本的な趣旨に影響しない程度の文言修正については、これまでの「事前協議」ではなく、「事務局にて修正を行った後、次回の委員会で事後報告する」という運用に変更したい旨を提案し、各委員了承。

6 閉会